

# 福寿草

新俳句人連盟  
石川県支部

発行  
野村芳泉

NO 75

2011年

12月1日

交流誌頂いた  
支部

孟宗置賜  
(山形)  
神奈川支部  
どんぐり会報  
俳句人大分とよ  
俳句人とやま  
長野支部報

俳句人愛媛  
支部報

花信 (兵庫支  
部)

「べらんめえ」  
東京23区支



石川県支部の皆さんへ

「事」をそのまま表現せず  
「姿」をとらえましょう

山形はもうめつきり寒くなりました。月山も、鳥海山も何度も雪をかぶり十一月十六日の朝は平地にも雪が降りました。それでも朝早くから田んぼに通う白鳥の姿が目につきます。

どうぞ皆さんも寒さにめげず俳句づくりに励んで下さい。

俳句はもちろん自然だけでなく人事や社会事象も、いわゆる「事」を作品化しませんが「事」をなまのまま「事」としての言葉だけで表現すればどうしても説明や報告になりがちです。「事」であればある程、それを「姿」に変えて表現することが大切です。

「姿」は世界をイメージすることです。俳句に一つの世界を立ち上げることです。それに心がけましょう。

白鳥のしんがり少し声を出す

二〇一一年十一月十八

工藤博司



ピラカンサ  
屋根より高し野鳥よぶ

## 新俳句人石川支部 12月紙上句会と初句会のお知らせ

12月紙上句会は、指定のはがきで12月10日まで投句して下さい。

1月は、初句会で下記の日時で開催します。初句会で元気でお会い出来ますよう希望します。

記

日時：2012年1月12日(木)

午前11時～午後4時

ところ：白山市千代女の里俳句館和室

内容：初句会と新年交流会

昼食を含め会費1000円

出欠は、初句会投句ハガキでお知らせ下さい

## 十一月句会

工藤博司選

復興の牡蠣ふくらみて焼き上がる	復	淑
茸まつり青木の山々やさしけり	茸	芳
柿二つ木のテッペンで泳いでいる	柿	淳
旅行をして紅葉刈りして同志がふえ	旅	建
袴付け扇子キリリと文化祭	袴	南
化けなくても魔女の年ですハローウィン	化	紅
秋深しふわりふわふわ波の花	秋	幸
叱られて欠伸する犬秋麗	叱	め
いくつもの大輪の菊根は一つ	い	も
義妹の逝きて落ちる実ななかまど	義	香
厨房に参上いたしたチチロかな	厨	光
コスモスの花木倒れて遠回り	コ	小
雪囲う樹木を束ね老夫婦	雪	関
二曲城農民一揆の蕎麦を喰い	二	浄
		教